

# 留学レポート

令和6年度埼玉親善大使 田中杏

はじめに

皆さま、初めまして。令和6年度埼玉親善大使を務めさせていただいた、高校2年の田中杏です。

今回私たちは、埼玉県と姉妹提携を結んでいる、クイーンズランド州に約2週間の留学をしてまいりました。留学中はイエップーンという町に滞在し、ホームステイをしながら、現地の学校にも通いました。また、今年度は埼玉県とクイーンズランド州が姉妹提携を結んでから40年の節目であるため、クイーンズランド州内にある、総領事館にも訪問させていただきました。そこで、このレポートでは私がクイーンズランド州で過ごした約2週間の生活の様子をご紹介します。

Yeppoon について

私たちが滞在したイエップーンは、クイーンズランド州東部の海岸沿いの田舎町です。気候は冬でも最高気温が20℃前後と温かく、雨はめったに降りません。イエップーンは成田空港から国際線で約10時間のフライトを終えた後、ブリスベン空港から国内線に約1時間搭乗し、ロックハンプトン空港から車で約1時間のところにあります。海と山に囲まれた自然豊かな地域で、野生のカンガルーも見ることができます。

Yeppoon State High School について

私たちは留学期間中、Yeppoon State High School という公立高校に通い、様々な体験をさせていただきました。学校は月～金曜日の5日間あります。授業は最初にホームルーム、その後は70分の4時間授業で、2, 3時間目の間と3, 4時間目の間に長い休み時間があり、その他に休み時間はありません。休み時間は学年ごとに分けられたエリアでランチを食べたり、友達と話したりします。学校にはYear7~Year12までの生徒が通っており、日本の中高一貫校のような仕組みになっています。ほとんどの生徒の授業は選択制なので、生徒が授業ごとに教室を移動します。日本と同じく、定期テストはあるのですが、この学校に入るための入試はありません。

留学期間中、私たちはバディーと一緒に授業を受けたり、ランチをしたりしました。バディーは日本語の授業を取っているYear9~Year12までの生徒で、毎日違う生徒が担当して

くれたので、より多くの生徒と関わることができました。クラスは20人ほどで構成されており、生徒が質問しやすい環境が作られていました。授業も、先生からの一方的なものではなく、生徒が主体でグループワークも多く、アクティブな授業が展開されていました。

ランチは、家から持参する生徒が多いのですが、タックショップ(購買)で買う生徒もいます。ランチボックスは日本のようなお弁当ではなく、サンドウィッチ、果物、スナックなどをタッパーに入れて持っていくのが主流です。リンゴの丸かじりはよく見かけました。

また、服装は指定のものを着用していました。トップスは半そでのポロシャツ、ウィンドブレーカー、ボトムスは黒の長ズボン、半ズボン、スカート、靴は黒のスニーカーでした。日本の制服やジャージのようなものはなく、1日中この服装で過ごします。私は日本の制服で現地の学校に通っていて、いろいろな方から日本の制服を褒めていただきました。

この学校は私たち日本人が想像するような厳しい校則はありません。生徒の個性を尊重している姿勢に感銘を受けました。ですが、学校にいる間のスマートフォンの使用は認められておらず、個人のプライバシーを重要視しているため、学校内や生徒の写真をインターネット上にあげることは禁止されています。また、写真を撮ることも許可を得た生徒しか許されていません。このようなプライバシーに関することは、この学校だけでなく、クイーンズランド州全体での決まりだそうです。日本よりもプライバシーに関するルールが厳しく定められており、個人情報を守られているように感じました。

## ホームステイについて

私のホストファミリーは最初の1週間、私用の為不在で、急遽別のホストファミリーの家で過ごしました。このホストファミリーはファザー、マザー、20代のブラザー、犬2匹、猫2匹、そしてこの留学プログラムに参加した女の子です。また、本来のホストファミリーは、ファザー、マザー、犬1匹でした。この2つ家族は親子関係にあったため、本来のホストファミリーと過ごしていても、休日などに会う機会が多くありました。ホストファミリーの変更は、不安な部分も多くありましたが、どちらの家族も温かく受け入れてくださいました。休日には、海に行ってお散歩をしたり、ショッピングモールに行ってお買い物をしたり、たくさんの経験ができました。夕食後は、UNOをしたり、映画を見たりして楽しみました。オーストラリアの文化や食事、生活の仕方など自分の経験を通して知ることができたのと同時に、日本の文化や違いも共有できたと思っています。本当にたくさんの経験をさせてくださって、感謝しかありません。

## 親善大使としての活動

私は留学期間中、埼玉親善大使として、主に以下の2つのことを意識的に行いました。

1つ目はインスタグラムを活用した情報発信です。インスタグラム公開アカウント (@an\_nst.aust) を開設し、毎日の生活の様子を投稿していました。この取り組みは日本の方はもちろん、国籍関係なくより多くの方にオーストラリアの魅力を伝えることを目的としました。また、SNSを使用することによって私のような若い世代の方にも情報を届けられると思い行いました。

2つ目は日本のことを意識的に伝えることです。オーストラリアにいても、与えられるものの方が大きく、なかなか日本の文化を伝える機会がないと感じ、意識的にこのことを行いました。また、ホストファミリーと折り紙をしたり、学校の友達に日本語を教えたりすることで、自然とお互いの中も深まっていきました。

また、今回はクイーンズランド州と埼玉県が姉妹提携を結んで40年の節目ということで、最後の2日間はブリスベンに宿泊し、総領事公邸を訪問しました。そこでは、アフタヌーンティーセレモニーを行い、留学期間中に感じたことや学んだこととお話ししました。本当に貴重な体験をさせていただきました。

## おわりに

今回の留学を通して改めて国際交流の重要性を感じました。オーストラリアで過ごした約2週間は毎日が充実していて、たくさんの刺激を受けました。また、今回のように実際に現地に住んで、学校に通っていたからこそ得られたものもたくさんあります。ただの海外旅行ではできないことをたくさん経験させていただきました。日本との違いを見つけていく中で、私自身の視野も広げることができ、日本の魅力も知れました。日本にいただけでは分からないことも身をもって知ることができ、実際に現地に足を運ぶことの大切さも感じました。世界にはまだまだたくさんの国があり、たくさんの方が暮らしています。それなのに、日本しか知らないのは本当にもったいないです。私自身も今回の留学において不安な部分もありましたが、それ以上に得るものが大きく、挑戦してよかったと心から思っています。私はこれからも、様々な国へ行き、たくさんの経験を積んでいきたいと思えます。

最後に、この留学プログラムの運営、サポートをしてくださった埼玉県庁国際課の皆様、一緒にプログラムに参加した留学生、クイーンズランド州担当者様をはじめ、すべての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 現地での写真

もっとたくさんの写真や情報が知りたい方は私のインスタグラムアカウント (@an\_ast.aust) を是非ご覧ください。質問等があれば気軽にDM (ダイレクトメッセージ)

してください。お待ちしております。



現地の学校で行ったグッバイランチの時のハンバーガーです。  
パイナップル農家を営んでいる生徒さんがパイナップルを持ってきてくれました。



イエップーンのマインビーチです。  
夕方や休日はたくさんの現地の方が訪れます。海で泳いでいる方もいました。



総領事公邸で行われたアフタヌーンティーセレモニーでいただいたデザートです。



ホストファミリーと作った折り紙です。

他にもたくさんの種類の折り紙を作りました。気に入ってくれたので嬉しかったです。



ブリスベンの町中にあるアートの写真です。

イエッブーンにもブリスベンにも、町中にたくさんのアートがありました。